

令和 6 年 6 月 18 日

## ハッピーライド in 静岡プロジェクト（小学生バス無料デー）

（ハッピーライド in 静岡プロジェクト実行委員会事務局）

### 1 背景

県内の乗合バス利用者数は、人口減少等による長期的な需要減に加え、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた令和 2 年度以降、大幅に減少した。

現在も、利用者数がコロナ禍前の 8 割程度にとどまるなど影響が長引く中、バス運転手の高齢化、2024 年 4 月にスタートした労働時間の厳格化等によりドライバー不足も深刻化している。

### 2 概要

小学生のバス利用を促進し、バス利用者の増加につなげるため、県内全ての小学生がバスに無料で乗車できる「ハッピーライド in 静岡プロジェクト」（以下、「プロジェクト」という。）を、市町や乗合バス事業者等と連携して実施する。

項目	内容
対象者	県内の全小学生 524 校 約 178,000 名 (R5 県学校名簿に基づく) (国公立・私立小学校、特別支援学校含む)
実施予定日	令和 6 年 12 月 7 日 (土) ～ 8 日 (日) の 2 日間
対象路線	県内乗合バス事業者路線 (貸切、観光バスを除く) 市町自主バス路線 (実施可能な市町)
主催	ハッピーライド in 静岡プロジェクト実行委員会※令和 6 年 4 月 24 日設置 構成員：国、県、市町、(一社) 静岡県バス協会、乗合バス事業者 事務局：静岡県バス協会、県地域交通課 (会長) 県地域交通課長、(副会長) 県バス協会専務理事、(監事) 静岡市交通政策課長
オブザーバー	静岡鉄道株式会社、静岡県地球温暖化防止活動推進センター

### 3 目的

- (1) 小学生を中心とした地域住民のバス利用の促進
- (2) 地域の足を支える運転従事者に「感謝とリスペクト」する気持ちを育み、将来にわたり社会全体で地域公共交通を支える意識を醸成
- (3) 皆でバスに乗り合うことによる環境負荷の低減

### 4 スケジュール

月日	内容
4 月 24 日	実行委員会の設立、実施日の決定
5 月中旬	各学校に小学生バス無料デーの実施を通知
6 月～	実施路線の特定、特設サイトの開設、沿線の公的施設等への協力依頼
10～11 月	各学校に無料デーリーフレットを発送 各種広報、啓発イベントの実施
12 月	小学生バス無料デー、無料デーと絡めたイベントを実施
12～1 月	効果検証、翌年度実施検討



バスにのって、でかけよう。

# 小学生バス 無料デー

小学生は  
無料「0円」で  
何回でものれ  
るよ！



Happy Ride in Shizuoka Project



実施予定日 令和6年12月7日(土)～8日(日)

- ・期間中、静岡県内の小学生は無料で何度でも乗車できます。
- ・無料乗車エリアは、静岡県全域です。
- ・対象路線は特設サイトに掲載していきます（特設サイトは6月以降OPEN予定）
- ・各家庭にお知らせするリーフレットは、11月中旬頃に各学校にお送りします。



## 実施の目的

- ・小学生のバス利用を促進し、バス利用者数の向上を目指します。
- ・地域の足を支えるバスドライバーに「感謝とリスペクト」する気持ちを育むことで、地域公共交通を支える意識を醸成します。
- ・皆でバスに乗り合うことにより、CO2の削減を目指します。



山間地などまちから離れた場所に  
住む人々の移動手段を守ります。



お年寄りや体が不自由な人の移動  
手段を守ります。



バスは環境にもやさしい  
乗り物です。

(CO2の排出量は自家用車の半分以下)

バスに乗ると、  
こんなに  
「いいコト」が  
あるよ！

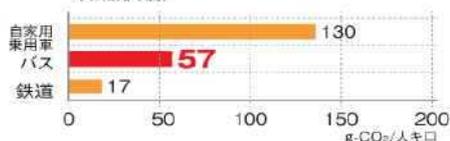


雨の日に道が混むのを和ら  
げたり交通事故を減らす効  
果があります。



地域の人と乗り合うことで  
コミュニケーションが  
生まれます。(運転手さんに  
感謝の気持ちを伝えることも  
大切です。)

【図E】 輸送量当たりの二酸化炭素排出量(旅客)  
(令和元年度)



国土交通省HP「環境運輸部門における二酸化炭素排出量」

主催 ハッピーライドin静岡プロジェクト実行委員会

(国土交通省中部運輸局静岡運輸支局、静岡県、(一社)静岡県バス協会、乗合バス事業者、市町)

(問い合わせ) 静岡県交通基盤部地域交通課 054-221-3186